



ロータリーは機会の扉を開く

## ロータリーは機会の扉を開く

2020～2021 年度  
第 30 巻 8 号  
2020 年 9 月 3 日

● クラブテーマ ●  
「成長を実感しよう～3つの扉を開く」

■■ 本日のプログラム ■■  
■ クラブフォーラム① ■  
会員増強委員会

例会場：ニューウェルサンピア沼津  
例会日：毎週木曜日 12:30点鐘

事務局 ●TEL 055-961-2050(久松会計事務所内)  
●FAX 055-961-2600(久松会計事務所内)  
E-mail ●numawestrc@gmail.com

### ◆◆第1367例会 会長挨拶◆◆

今年度に入りまして2ヶ月が経過しました。  
毎週コロナ関連の話題では気も減入るでしょうから、本日の会長挨拶は話題を変えて、テレビドラマ「半沢直樹」のセリフで印象的なものをご紹介しますと思います。同ドラマについてご存じでない方もいらっしゃるかもしれませんので、簡単にご紹介します。

「半沢直樹」はTBS系「日曜劇場」で放送されていて、作家で元銀行員でもある池井戸潤氏の小説が原作です。堺雅人演じる主人公・半沢直樹が、東京中央銀行のバンカーとして行内の数々の不正を暴く逆転劇を痛快に描き、視聴者の心をわしづかみにしました。

シリーズ1作目2013年7月7日から9月22日まで放送、現在は今年7月19日から2作目が放映され、いずれも高視聴率をあげています。シリーズ1作目の「やられたらやり返す、倍返しだ」は有名なセリフですが、今シリーズでのいくつかの名言をご紹介しますと思います。

第3話「大事なものは感謝と恩返しだ。その2つを忘れた未来は、ただのひとりよがりの絵空事だ。これまでの出会いと出来事に感謝をし、その恩返しのつもりで仕事をする。そうすれば、必ず明るい未来が開けるはずだ。」

第4話「仕事は客のためにするものだ。ひいては世の中のためにする。その大原則を忘れたとき、人は自分のためだけに仕事をするようになる。自分のためにした仕事は、内向きで卑屈で醜く歪んでいく」「大企業にいるからいい仕事ができるわけじゃない。どんな会社にいってもどんな仕事をしていても、自分のプライドを持って、日々奮闘し、達成感を得ている人のことを本当の勝ち組というんじゃないかと俺は思う」

いずれのセリフも、われわれの仕事やロータリー活動にも通ずるものではないでしょうか。ドラマのなかのセリフとは言え、共感してしまいました。

個人的には、私がかつて勤務していた銀行がモデルと言われ、いくつかのエピソードは自身も経験した内容が盛り込まれており、当時を思い出しながら視聴しています。さすがに半沢直樹ほどは、上司に盾突きませんでした。

### 9月のプログラム

1368回 12:30 09月10日(木)	ニューウェルサンピア沼津 クラブフォーラム② 公共イメージ向上委員会 理事会④
1369回 12:30 09月17日(木)	ニューウェルサンピア沼津 外部卓話 静岡地方司法局沼津支局長 大柴 稔氏
1370回 12:30 09月24日(木)	米山梅吉記念館 米山奨学生卓話 王 鶯氏 ロータリー財団委員会

### クラブ管理運営委員会報告

#### ★出席報告(会員総数 28名)

例会	会員数	出席数	MU	出席率
1367回	27名	22名	--名	81.48%
1365回	27名	22名	0名	81.48%

#### ●ゲスト・ビジター なし

#### ●欠席者(5名)

神尾栄一、宮口雅仁、成田みちよ、内田逸美、渡邊勝也

#### ●他クラブへの出席者

永井克彦(9/3 東京ピースウィングロータリーEクラブ)

会 長	植松 正 幹 事	山田 和典
広報委員長	下田 朗弘 編 集 者	颯川ゆう子

## ●スマイル報告

1. 井上武雄：入会記念日のお祝いありがとうございます。
2. 土屋昌之：家族の誕生日のお祝いありがとうございます。
3. 植松 正、4. 山田和典、5. 鈴木良則、6. 鈴木和憲、7. 山本宜司：久松会員増強委員長、本日のクラブフォーラム、宜しくお願い致します。
8. 名古屋良輔：8月も最終日に月100キロ走を達成しました。猛暑の中、綱渡りでした。
9. 下原満知子：長い間お休みしまして、すみませんでした。

## 幹事報告

### 1. 他クラブの例会変更等

ございません。

### 2. 連絡事項

- ①次週は、理事会がありますので、理事の方は出席及び協議資料の提出をお願いします。

## 理事会報告

### 1. 報告事項

なし

### 2. 協議事項

- ①8月31日、永井克彦君より休会届が提出されました。
  - ・期間 ～9月末迄延長
  - ・会社都合にて（コロナウイルス感染拡大防止の影響の為）→ 承認

## クラブフォーラム



クラブフォーラム  
会員増強委員長 久松 但

2020. 8. 30開催予定だった2620地区会員増強維持セミナーが中止になったため、2620地区会員増強維持委

員会川崎裕司委員長が、ガバナー月信9月号に掲載したコメントを音読しました。これによると、昨年度の2620地区の入会者は209人、退会者は286人であり、RIと同じ傾向であることが確認されました。

このことから、退会者を出さないことが重要ですが、植松会長の2名増員の方針のもと、クラブフォーラムを開催しました。

最初に、職業分類表から未充填の職業分類を認識していただき、入会候補者のリストである「入会候補者情報シート」について、記入をお願いしました。この後、会員増強維持について自由に意見を発表して頂きました。

この中で、現状の新型コロナウイルス感染症が蔓延している中で、例会に参加して頂くのは難しいのではないかとの意見がありました。一方、比較的年数の短い会員からは、逆にいきなり例会に参加してもらうより、何人かの会員が共通の友人関係を通じて、ロータリークラブに誘う方が良いのではないかとの意見もありました。

また、最近入会した何人かの意見を聞いて、入会した理由を参考にして新会員を誘う手段を考えた方が良いとの意見もありました。

クラブ会員増強のためのチェックリストを配布し、各会員に会員増強のための手法を確認してもらいましたが、この中で新会員へのロータリークラブ情報の提供やクラブの活動についても理解をして頂くことが、入会したことへの満足度につながり、しいては入会について自信をもって誘えるなど、非常に重要であると感じました。

今後、友人同伴例会や、新会員のオリエンテーションを行っていきたいと考えています、その節はご協力をお願いします。



## ロータリーは機会の扉を開く

2020～2021 年度  
第 30 巻 9 号  
2020 年 9 月 10 日

ロータリーは機会の扉を開く

● クラブテーマ ●  
「成長を実感しよう～3つの扉を開く」

■■ 本日のプログラム ■■  
■ クラブフォーラム② ■  
公共イメージ委員会

例会場：ニューウェルサンピア沼津  
例会日：毎週木曜日 12:30点鐘

事務局 ●TEL 055-961-2050(久松会計事務所内)  
●FAX 055-961-2600(久松会計事務所内)  
E-mail ●numawestrc@gmail.com

### ◆◆第 1368 例会 会長挨拶◆◆

本日のプログラムは、公共イメージ委員会によるクラブフォーラムです。そこで、本日の会長挨拶は、同委員会の最重要業務とも言っても過言ではない週報(会報)についてお話をしたいと思います。

まずは、この話題を取り上げた経緯についてから説明します。過日7月30日の例会に、沼津RCと沼津北RCの会長・幹事の皆様、期首訪問にお見えになったことは記憶に新しいかと思えます。当日のプログラムは前年度事業報告でしたが、沼津RCの野際会長から当クラブの財務内容が良い理由は、「週報に係るコストが少額だからとでは」との感想を漏らされたことが印象深かったからです。

確かに当クラブの前年度決算における印刷代は1万円にも満たず、公共イメージ委員会の支出も週報のファイル代を含めても4万3000円程度しかありません。一方、他クラブの事業計画書は、週報やHPの作成・維持に100万円以上、事業報告書や計画書作成に30万円以上計上しているところもあります。

役割分担についても、クラブに印刷会社を事業とする会員が在籍していると、事務局と印刷会社が編集の大部分を担うことが多いようです。当クラブにおいても過去の週報を見ると、当初10年近くは同様の状況であり、ずっと会報委員長ないし副委員長は印刷会社の会員の方が務められていました。はじめて会員独自で編集し印刷するようになったのは、2000～2001年度の名古会長の時からかと思われまます。当時の週報を見ると写真がカラーになり見やすくなった反面、ページ数が5、6ページは当たり前、時には10ページ近くあるなど迷走している感は否めません。その後も紆余曲折があったようですが、現在のスタイルは2004～2005年森茂美年度あたりから確立されたようです。

私の経験を述べると、2005年入会ですので、当初

から週報は現在のスタイルでした。入会数ヶ月も経たずに当時の会報委員会に所属し、その年の週報の写真の大半は私がデジカメで撮影しました。パソコンに精通している会員も限られていたので、入会后10年のうち7年は会報ないしクラブ広報委員会に所属しておりました。因みに、はずれた3年間のうち2年間は幹事を務めています。

経験者をご理解頂けると思いますが、毎週の原稿チェックや校正、年2回まわってくる編集月など、負担は決して軽くありません。決して編集ソフトも使い勝手が良いとは言えず、変更を検討しているのも同感です。ただ、週報の編集にかかわっているからこそ、会長挨拶や卓話の原稿を真剣に読むことも事実かと思えます。私は、その経験を通じて、ロータリーについて勉強をさせてもらいました。本日のフォーラムが意義あるものであることを期待しております。

### 9月のプログラム

1369回 12:30 09月17日(木)	ニューウェルサンピア沼津 外部卓話 静岡地方法務局沼津支局長 大柴 稔氏
1370回 12:30 09月24日(木)	米山梅吉記念館 米山奨学生卓話 王 霽氏

### 10月のプログラム

1371回 12:30 10月1日(木)	ニューウェルサンピア沼津 外部卓話 室伏 強氏
1372回 12:30 10月8日(木)	ニューウェルサンピア沼津 クラブフォーラム③ クラブ管理運営委員会 理事会⑤
1373回 12:30 10月15日(木)	ニューウェルサンピア沼津 ガバナー公式訪問
1374回 12:30 10月22日(木)	ニューウェルサンピア沼津 沼津西RC杯少年 サッカー大会について 創立30周年記念式典について
10月29日(木)	裁量休会

会 長	植松 正	幹 事	山田 和典
広報委員長	下田 朗弘	編 集 者	颯川 ゆう子

## クラブ管理運営委員会報告

### ★出席報告（会員総数 28名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
1368回	27名	22名	--名	81.48%
1366回	27名	24名	0名	88.89%

●ゲスト・ビジター なし

●欠席者(5名)

井上武雄、神尾栄一、本村文一、内田逸美、渡邊勝也

●他クラブへの出席者

永井克彦(9/10 ワールド大阪ロータリーEクラブ)

●スマイル報告

1. 杉山恵嗣：入会記念日のお祝いありがとうございます。
2. 植松 正、3. 山田和典、4. 山本宜司、5. 鈴木良則、6. 成田みちよ：下田委員長、本日のフォーラムを宜しくお願いします。
7. 下田朗弘：皆様、本日のクラブフォーラム宜しくお願いします。
8. 下原満知子、9. 芹澤和子：所用につき早退させていただきます。

## 幹事報告

1. 他クラブの例会変更等  
ございません。

2. 連絡事項

①本日は、理事会がありますので、理事の方は宜しくお願い致します。

## 理事会報告

1. 報告事項

①次週9月17日例会外部卓話の講師謝礼については、卓話者に確認したところご辞退されました。（山本理事より食事も辞退との報告あり）

②沼津4RC合同例会は、  
令和3年3月17日(水)18時30分～  
沼津リバーサイドホテルにて開催となりました。

2. 協議事項

①10月度 例会プログラムの件  
クラブ管理運営委員長 山本 宜司 君  
(久松) 10月1日例会を友人同伴例会としたい。  
(植松) ガバナー公式訪問について、近隣クラブには、志田アクティングガバナーが訪問されているようです。→添付資料承認

②沼津西RCカップ少年サッカー大会の開催可否について  
・日程：10月25日(日) AM 愛鷹広域公園競技場  
(植松)・予定通り開催とするが不測の事態には1週間前でも中止は可能  
・RC活動のPRや存在を知ってもらいたい

・ポリオ募金については、アスル側と調整し、次回理事会で上程する

・参加は16チーム160名予定、当日は遅くとも午前中に全行程を終了する

・地区補助金の主たる利用の優勝カップと参加賞については検討し、次回上程する→以上承認

③鈴木和憲君、10月1日三島西RC訪問の際の出席扱いについて。

当日は、当クラブ例会日ですが、米山奨学生唐丹氏の卓話引率で訪問されます。→ホーム出席扱いにて承認

3. その他

①10月1日例会、外部卓話講師謝礼の支出について  
→ 承認

②(久松) 会員増強委員会より

・テーブル会に友人を同伴した場合に当人会費の補助を委員会費より支出したい。

・新人研修会を開催したい

日程：11月14日(土)17:00～

大手町会館予定 ※入会5年未満 →承認

## クラブフォーラム

公共イメージ向上委員会委員長 下田朗弘

1. 週報作成に関する意見

(1)クラブのイメージカラー

えんじ色(たすきの色)。特に決まってない。

(2)週報掲載事項

①週報は、活動内容を記録として残す、他クラブやガバナー事務所への活動内容の周知・報告の意味もあるので、現在の事項を維持する。

②理事会報告の詳細はHPで確認する形にすれば、HPアクセス増も期待できる。

③理事会報告は、週報で初めて知る状況なので載せて欲しい。

④週報以外の理事会報告会員周知方法を検討すべき。

2. 週報PDF化に関する意見

(1)現状3名、新規希望者なし。

(2)PDFメール配布を原則、希望者のみ紙で配布する。

(3)紙の方が例会時に簡単に見られていい。

3. My Rotaryについて

(1)登録状況の報告：残3名。登録率は静岡第2Gで1位。

(2)同グループで100%達成クラブなし。

今年度中に100%を目指す。

4. 世界ポリオデー4RC合同街頭募金の代替措置に関する意見

(1)他クラブと合同実施は困難。

(2)ポリオの予算を募金に充当する。

(3)10/25サッカー大会時に実施する。



## ロータリーは機会の扉を開く

2020～2021 年度  
第30巻 10号  
2020年9月17日

ロータリーは機会の扉を開く

● クラブテーマ ●  
「成長を実感しよう～3つの扉を開く」

■■ 本日のプログラム ■■  
■ 静岡地方財務局沼津支局長 大柴 稔氏 ■

例会場：ニューウェルサンピア沼津  
例会日：毎週木曜日 12:30点鐘

事務局 ●TEL 055-961-2050(久松会計事務所内)  
●FAX 055-961-2600(久松会計事務所内)  
E-mail ●numawestrc@gmail.com

### ◆◆第1369例会 会長挨拶◆◆

昨日の臨時国会で、第99代首相に菅義偉（よしひで）官房長官が就任しました。首相交代は7年8か月振り、無派閥で世襲でもない議員が選ばれるのは異例のことです。

菅氏は「役所の縦割り、既得権益、あしき前例主義を打破し、規制改革を進める」と発言しています。その具体策として、デジタル庁創設や携帯電話料値下げとならび、「地銀再編」をあげています。そこで本日の会長挨拶は、地方銀行再編についてお話をしたいと思います。

菅氏は「地銀は経営基盤を強化し、地域に貢献していく必要がある。再編も一つの選択肢になる」と唱えてきました。背景には、地方経済の低迷や長期にわたる低金利政策により地方金融機関の経営基盤はぜい弱化し、地方経済の支え手となるには再編が必要との認識があります。そもそも地銀とは何か、再編とはどういうことなのかについて説明します。

地方銀行の定義としては、全国地方銀行協会ないし第二地方銀行協会の会員である銀行のことを指し、前者を第一地銀、後者を第二地銀と呼んでいます。第二地銀はかつての相互銀行が普通銀行に転換したものです。銀行数は合わせて106行におよび、平均すると1県あたり2行存在することから、多すぎると言われる所以となっています。因みに静岡県は、静岡、スルガ、清水に第二地銀の静岡中央を加えた4行があり、これは福岡県の5行に次ぐ多さです。

一方、都市銀行とは6大都市またはそれに準ずる都市を本拠として、全国的にまたは数地方にまたがる広域的営業基盤を持つ銀行とされ、1980年代までは

13行体制が続いていました。それが現在は合併再編を繰り返し、メガバンク3行（三菱UFJ、三井住友、みずほ）にりそなグループの2行（りそな、埼玉りそな）を加えた5行にまで減少しています。

銀行再編の話をする、確かに店舗の統廃合、本部機能やシステムの集約、それに伴う人員削減により、経営効率が上がり収益力が高まることは事実です。地方銀行においても、2016年に最大地銀の横浜銀行が東日本銀行と持ち株会社を設立するなど、エリアを超えて経営統合する動きはみられます。最近ではSBIグループが清水銀行や島根銀行、福島銀行など相次いで出資し、第4のメガバンク構想を打ち上げています。

自分の経験では、銀行合併は想像以上に大変です。行内の権力闘争は別にしても、取引先に対する方針さえ変更してしまう可能性もあります。私たちも、取引銀行を選別する目を養わなければならない時代が来ていると思われま。

### 9月のプログラム

1370回 12:30 米山梅吉記念館 米山奨学生卓話  
09月24日(木) 王 壽氏

### 10月のプログラム

1371回 12:30 ニューウェルサンピア沼津 外部卓話  
10月1日(木) 室伏 強氏

1372回 12:30 ニューウェルサンピア沼津 クラブフォーラム③  
10月8日(木) クラブ管理運営委員会 理事会⑤

1373回 12:30 ニューウェルサンピア沼津  
10月15日(木) ガバナー公式訪問

1374回 12:30 ニューウェルサンピア沼津  
10月22日(木) 沼津西RC杯少年サッカー大会について  
創立30周年記念事業について

10月29日(木) 裁量休会

会 長	植松 正 幹	事	山田 和典
広報委員長	下田 朗弘	編 集 者	颯川 ゆう子

★出席報告 (会員総数 28名)

例会	会員数	出席数	MU	出席率
1369 回	27 名	22 名	--名	81.48 %
1367 回	27 名	22 名	1名	85.18 %

●ゲスト

静岡地方法務局沼津支局長 大柴 稔 様



●欠席者(5名)

顚川ゆう子、井上武雄、神尾栄一、芹澤和子、重光 純

●他クラブへの出席者

内田逸美(9/11 沼津RC)

●スマイル報告

- 植松 正、
  - 山田和典、
  - 鈴木良則、
  - 成田みちよ
  - 山本宜司、
  - 鈴木和憲、
  - 杉山恵嗣
- : 大柴様、本日の卓話、宜しくお願いします。
8. 渡邊勝也: 所用につき、早退させていただきます。

静岡地方法務局沼津支局長 大柴 稔 様  
法務局の業務全般について

- 法務局の業務
  - 不動産登記、商業法人登記、戸籍国籍事務
  - 人権擁護事務、供託事務、訟務事務
- 不動産登記
  - 法定相続証明制度
  - 自筆証書遺言書保管制度 本年7月10日から
  - 相続登記の促進
- 商業法人登記
  - 静岡県では、静岡本局 沼津支局 浜松支局
- 戸籍国籍事務
  - 市区町村への統一的取り扱いの指示、助言
  - 帰化事務
  - 成年後見事務
- 人権擁護事務
  - 人権相談や人権侵犯事件の調査等
- 供託事務
  - 選挙供託
  - 弁済供託
  - 執行供託
- 訟務事務
  - 国を当事者とする訴訟等の適正な処理
- その他

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①沼津北RC

9月22日(火) 祝日休会 MU: ありません

2. 連絡事項

①次週は、米山記念館にて、移動例会です。

②10/1(木)の例会で、友人同伴例会を開催します。

参加できる友人の会社名・氏名をご記入ください。



9/18発売・日本のロータリー100周年記念切手

-----8月分出席一覧-----

顚川 ( 2 )	久松 ( ③ )	井上 ( 0 )	神尾 ( 0 )	宮口 ( ③ )	宮島 ( ③ )	本村 ( 1 )
永井 ( 休会 )	名古 ( ③ )	成田 ( ③ )	小野 ( 2 )	芹澤和 ( ③ )	芹澤貞 ( ③ )	重光 ( 2, 1 )
下田 ( 2 )	下原 ( 0 )	杉山恵 ( ③ )	杉山真 ( ③ )	鈴木博 ( ③ )	鈴木和 ( 2 )	鈴木良 ( 2, 免除 )
田村 ( 2 )	土屋 ( ③ )	内田 ( 1, 1 )	植松 ( ③ ) +2	渡邊勝 ( ③ )	山田 ( ③ ) +1	山本 ( ③ )
			例会出席%	76.25 %	地区報告	78.75 %

氏名(ホームクラブ出席数、他クラブ出席数)+超過出席数。丸数字はホームクラブ出席100%を示す。



## ロータリーは機会の扉を開く

2020～2021 年度  
第 30 巻 11 号  
2020 年 9 月 24 日

ロータリーは機会の扉を開く

● クラブテーマ ●  
「成長を実感しよう～3つの扉を開く」

■■ 本日のプログラム ■■  
■ 米山奨学生卓話 ■  
王 鶯 氏

例会場：ニューウェルサンピア沼津  
例会日：毎週木曜日 12:30点鐘

事務局 ●TEL 055-961-2050(久松会計事務所内)  
●FAX 055-961-2600(久松会計事務所内)  
E-mail ●numawestrc@gmail.com

### ◆◆第1370例会 会長挨拶◆◆

本日は、米山梅吉記念館での移動例会です。例年ですと10月の米山月間に合わせ、米山奨学生の卓話を聞くことが恒例になっております。本年は当館の予約の都合上、やむを得ず9月の開催となりました。

そこで、本日の会長挨拶は、当クラブにおける米山梅吉記念館での移動例会や米山奨学生と関わりについて、お話をしたいと思います。

その前に米山記念館について簡単に説明をします。当記念館は、今から100年前の1920年に我が国に初めて東京ロータリークラブを設立し、その発展の礎を築いた米山梅吉翁の遺徳を偲び、その偉業を顕著にするため1969年9月18日に開館されました。

同館建設は、米山梅吉翁の子息である桂三氏の好意により米山家の土地の一部を寄付して頂き、その後全国のロータリアンの寄付により隣地を買い足し、近隣の11クラブと有志のロータリアンによりできたものでした。現在は「旧館」と呼ばれ、米山文庫として使用されています。

現在使用している「新館」は、約325百万円（当地区は1人6千円、米山奨学会5千万円、東京RC2千万円、長泉町2千万円ほか）の寄付により、1998年4月28日（梅吉翁の命日）に落成式が行われたそうです。

次に、当クラブにおける記念館での移動例会や奨学生の卓話の歴史について、過去のクラブ週報の情報をもとに話をします。

最初の移動例会は、2代目鈴木良則会長の1992年10月8日に実施されています。出席者は、当クラブ会員22名のほか、沼津北クラブを中心とした11名を加えた33名と記録されていました。

その後、新館が完成した半年後の98年10月、8代目

植松会長の時から定期的に移動例会を行うようになったようです。

一方、米山奨学生に卓話を依頼したのは、4代目田口会長の94年10月の例会が初めてのようです。

リ・チョンホイさんという台湾出身の女性で、本日お見えの二人の奨学生の先輩にあたる日本大学国際関係学部にて在籍していました。テーマは「日本に来て感じたこと」でした。

その後、米山月間にあわせ奨学生の卓話は行われるようになりましたが、毎年定期的実施されるようになったのは、11代目大村会長の2001年からで、実に20年近く続いていることとなります。

当クラブは、昨年4月から初めて米山奨学生を受け入れるようになりました。

これは鈴木和憲パスト会長の尽力によるものですが、会員にとっては、1人16千円を寄付するだけでなく、身近に奨学生を知ることができる貴重な機会となっています。本日の王鶯様の卓話も楽しみにしております。

### 10月のプログラム

1371回 12:30 10月1日(木)	ニューウェルサンピア沼津 外部卓話 室伏 強 氏
1372回 12:30 10月8日(木)	ニューウェルサンピア沼津 クラブフォーラム③ クラブ管理運営委員会 理事会⑤
1373回 12:30 10月15日(木)	ニューウェルサンピア沼津 ガバナー公式訪問
1374回 12:30 10月22日(木)	ニューウェルサンピア沼津 沼津西RC杯少年サッカー大会について 創立30周年記念事業について
10月29日(木)	裁量休会

会 長	植松 正 幹 事	山田 和典
広報委員長	下田 朗弘 編 集 者	颯川 ゆう子

## クラブ管理運営委員会報告

### ★出席報告 (会員総数 28名)

例会	会員数	出席数	MU	出席率
1370 回	26 名	19 名	一名	73.08 %
1368 回	27 名	22 名	0 名	81.48 %

### ●ゲスト

1. 王 騫様：米山記念奨学生
2. 大塩秀樹君：沼津北RC

### ●ビジター

1. 柴崎恵子君：三島西RC

### ●欠席者(7名)

井上武雄、神尾栄一、宮口雅仁、名古屋輔、  
小野洋子、下田朗弘、杉山恵嗣

### ●他クラブへの出席者 なし

### ●スマイル報告

1. 大塩秀樹様(沼津北RC)：王 騫君をお招き頂き、ありがとうございます。
2. 柴崎恵子様(三島西RC)：本日は、よろしくお願ひ申し上げます。
3. 植松 正、4. 山田和典、5. 本村文一、
6. 山本宜司：王 騫様、本日の卓話、宜しくお願ひします。

## 幹事報告

### 1. 他クラブの例会変更等

- ①沼津RC  
9月25日(金) 休会  
MU受付：沼津リバーサイドホテル 11:30-12:30

### 2. 連絡事項

- ①10/1(木)の例会で、友人同伴例会を開催します。  
参加できる友人の、会社名・氏名をご記入ください。

## 米山奨学生卓話



米山奨学生卓話 王 騫 氏

私は中国出身で日本大学国際関係学部四年生の王騫と申します。2019年6月から静岡県のおふじのくに留学生親善大使を務めており、「親善大使」として小学校への訪問などのイベントに参加していました。

私の日本で努力した成果について、まず私は二年生の頃に日本大学国際関係学部の功労学生奨を受賞いたしました。そして、YMCA留学生日本語スピーチコンテストにおいて、スピーチをし、優勝をいたしました。またWFWP留学生日本語弁論大会静岡県大会において、最優秀賞を受賞いたしました。これらの受賞は自分の努力した結果が認められ、日本語を頑張ってきた私にとって光栄であり、励ましであると考えております。

次は故郷の魅力的な文化について紹介します。私の故郷である済南は、自然が豊かであり、泉水が最も有名です。済南から出て、あの頃、あの風景をもっと見れば良かったと後悔しています。このような後悔の経験を二度としないよう、今日本に生活している私は心で日本の美しさを感じております。また、いつの日か日本の美しさを中国人の方々にもお伝えできるよう頑張りたいと思います。

私は来日して外国人として四年間に暮らしてきました。違う文化をもつ私のことを世話してくださる優しい日本人の方々が多かったですが、差別される経験もゼロではありませんでした。そのようなことを経験したら誰でも悲しむのです。

しかし、私はそのような経験を通して差別することを絶対にしてはいけないという観念を育成できました。私は差別問題の解消に自分の力を貢献したいと考えております。

そして、この四年の間に、私は様々な文化交流会に参加しました。交流会を通じて、他国の文化の素晴らしさを見つけ、様々な国の文化に対し、興味を持つようになりました。文化交流は世界を変えられる力を持っていると考えるため、今後も努力したいと考えております。

日中両国は近いながら違いもあります。両国の文化に共通するところがたくさんあります。そして、未来には両国の間に今より接点がさらに多くなるだろうと考えております。そのため、両国の間で私が架け橋の役割を果たさなければなりません。日中関係を前に進めるため、私は自分の力で貢献したいと考えております。言語力、文化に対する理解など、自分にはまだまだ未熟なところがありますが、今後も努力して頑張っていきます。